

# 悠游たより 心游たより

第231号  
令和4年  
1月

発行 新居浜生涯学習大学  
〒792-0023

新居浜市繁本町 8-65

電話・FAX(0897) 33-2991

E-Mail:n-daigaku@city.niihama.lg.jp



## 一陽来復 新型コロナ禍を超えて

生涯学習大学 学長 関 福生

新年明けましておめでとうございます。新時代令和も早や4回目の新年を迎えました。皆様には健やかな年の門出をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この二年間は新型コロナウイルスへの対応に追われ、あっという間に過ぎ去った感があります。この所、県内では感染もなく落ち着いています。オミクロン株の感染など安心できない日々が続きます。皆さんと共に安全安心に気を配り、終息に向けて取り組んで参りましょう。「一陽来復」という易経の言葉があります。陰の気が極まり、陽の気が生じるという意味だそうです。暗い長い闇のトンネルを超え、明るい陽が射す年になることを願うばかりです。

今年の干支は壬寅（みずのえとら）年です。虎は「千里往って千里還る」という諺があるように、活力があり、行動力旺盛な動物です。この二年間は動くことを制限されましたが、今年は虎のようにエネルギッシュに新しい学習に皆さんと一緒に挑戦していきたいと思えます。新型コロナによって、これまでであれば学びは全面停止だったのが、幾つかの講座ではリモートでの講座開催ができました。まだまだ、リアルな対面学習の臨場感には及びませんが、できることも沢山あることを知りました。特に、新・雑談しま専科の受講生の皆さんには、リモート講座の開催実験に取り組んでいただいたこと感謝申し上げます。全くやったことのないことに白紙から取り組んでいただきましたが、いつの間にか20名超のメンバーがZoomで会議している姿に触れ、これまでの固定観念を覆されました。そして、リモートだからモザンビークの子ども達との対話や著名講師の講義を自宅で視聴できることも知りました。新年度の大学では、これらの取組で得られたノウハウを生かし、従来なかった企画にも取り組む予定です。

また同時に、ポストコロナ時代のリアルな形式での受講生同士のつながりが深まるプログラムも練っていきたく思います。不易と流行のバランスが取れた、これまで培ってきた30年の歴史を大切にす新居浜生涯学習大学の新たなスタートを、皆さんと一緒に切りたく思います。今年も、一人ひとりの幸せが実現できる生涯学習の場として、みんなで盛り上げてまいりましょう。どうかよろしくお願いたします。



## おとなの社会科・まなびすと研修紀行

師走も押し迫る 22 日、「おとなの社会科・まなびすと研修」として松山市、砥部町を訪ねました。今回、「おとなの社会科」では、初回にワークショップを開催し、どこで何を学ぶかを決定しました。その際、4 グループすべてが松山市の環境学習の拠点“まつやま Re・再来館”（愛称：りっくる）を第一候補に選びました。一宮神社、多喜浜塩田で学び、3 番目が「りっくる」でした。新型コロナも落ち着き、晴天の下バスは高速道路をひた走り、空港通りの目的地に到着しました。

「りっくる」は平成 14 年 7 月 7 日に開館しました。児童公園が隣接するゆったりした敷地の中、屋根にソーラーパネルが敷き詰められた環境に配慮された木造の建物があります。この施設は公設民営で、NPO 法人ふれあいエコクラブが仲間たちと一緒に管理運営を担っています。私たちを出迎えてくれた吉田 啓二館長の説明では、「この施設ができた際に、市民の有志が名乗りを上げ、環境学習や市啓発を自分達が担うことを市長に提案し、自分達が責任をもって運営するので、行政は口を挟まないでくれと啖呵を切り、行政側もそれを受け容れ、今に至っている。」とのことでした。「カネは出すが口は出さない」というスタイルは理想的ですが、これは余程の信頼関係がなければできません。20 年前の松山市の市民活動の先見性を教えられた気がいたしました。

施設の中では、多くのボランティアの方々が各自の得手を活かし、様々な場面で活躍していました。一人ひとりがとても誇らしげに語ってくれていたのが印象的でした。捨ててしまえばごみとして扱われる家具に手をかけて修理し販売するコーナー（残念ながら購入は松山市民限定）、牛乳パックを再利用して手すき和紙風に製品化する工房、着物の再利用、そして自然保護に取り組むNPOの情報提供など、子どもから高齢者まで、環境に対する考え方を変容させてくれる学びがここにはありました。ぜひ、皆さんも松山市にいらっしゃる折には「りっくる」を訪ねてみて下さい。

昼食をとった後は砥部町訪問です。国道 33 号線に設置された砥部焼が私たちを迎えてくれました。砥部町で活動された詩人、坂村 真民さんの記念館ではちょうど企画展が開かれており、森羅万象への深い愛と人としての生き方を求道した真民さんの作品に心洗われました。最後に、隣接する砥部焼伝統産業会館を訪ね、伝統を守り、育ててきた砥部焼の神髄に触れ、「おとなの社会科」の授業を無事終えることができました。

教室での学び、現地を訪ねつぶさに眺め人に教えを聞く学び、生涯学習大学ではこれからも様々な学びを大切にしていきたいと思えます。末筆になりますが「りっくる」を研修地に選定してくれた受講生の慧眼に敬意を表し、感謝申し上げます。





## 「私の生涯学習」



まなびすと 越智 千鶴子

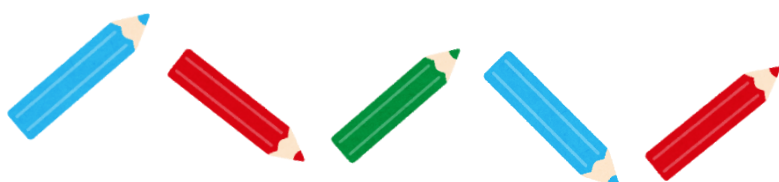
私事ですが、私は次の春で定年を迎えます。30年余り一日の大半を職場で過ごし、学習と言えば仕事関係でどうしても知っておかねばならない情報の取得であったり、業務のスキルアップのための研修が殆んどでした。

それらの学習は、PTAとか自治会などの地域活動にも少なからず役に立ちましたが、人生百年時代と言われる今、これからの人生の中で、仕事とはまた別の興味や楽しみにも目を向けていきたいなあと、今ぼんやり思っています。「やるべき」ではなく「やりたい」こと。そのための「学び」。まだはっきり見えてはいませんが、イメージするだけでもワクワクしてきます。

ボランティアを支援する業務の関係で、生涯学習のスタッフにお誘いいただいたのですが、あまりお役に立てないまま今に至り、積極的に参加されている方々に申し訳なく思っています。でも、こうして関わらせていただく中で、様々な分野の学びの世界が広がっていることに驚き、同時に、何かにじっくり取り組むことって自分にとって多分憧れだったんだなと再確認しました。(仕事の中での学びが嫌々だったわけではありません。)

何をどう学び、それをどう生かしていくかは自分の生きていく姿勢とも言えるわけで、自分の気持ちや生活を充実させるためは勿論なのですが、なんらかの形で社会と関わりながら実践に結びついて、周りの役にも立っていけるとなおいしいなと思います。

何はともあれ、好奇心と知りたいという意欲を持ち、動き続けるためにはまずは健康第一！ということで、健康づくりから始めましょうか。





# 講座カレンダー



# 2月



予定のご確認を…

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
2	水	学んでマナビィ	—	片付け	9:30	ふれあいプラザ第1研修室
9	水	科学博物館講座	7	愛媛の昆虫	10:00	総合科学博物館第1研修室
		懐かしの心の唄講座	7	童謡、唱歌、ラジオ歌謡な…	10:00	市民文化センター別館中ホール
		人生百年医学講座	7	骨粗しょう症の予防	14:00	市民文化センター別館中ホール
10	木	俳句講座	—	俳句	13:30	生涯学習センター第1研修室
12	土	日本文学講座	8	旧別子を詠んだ俳句を味読…	13:30	市民文化センター視聴覚教室
16	水	新・雑談しま専科	9	雑談パート⑥	9:30	生涯学習センター第1研修室
17	木	じっくりと野鳥観察	3	沢津漁港探鳥会	9:00	現地

もう一度観たい!

## 講座上映会のお知らせ

今年度ビデオ撮影を行った講座の中からいくつかの講座を、**生涯学習センター第1研修室**のTVモニターで流します。日程と上映する講座の内容は以下の通りです。

上映は**10時から開始**いたします。

参加費は無料です。ご興味のある方はぜひお越しください。

日程	講座名	テーマ
2月1日(火)	めだかの学校(6/21講座)	おもちゃ図書館きしゃポッポ ～ゆっくり走り続けて四半世紀～
2月8日(火)	ポストコロナ時代の人間関係 (10/21講座)	人と社会の関係① ～社会が人に向けた情報発信～
2月15日(火)	ポストコロナ時代の人間関係 (11/4講座)	人と社会の関係② ～人が社会に向けた情報発信～
2月22日(火)	ポストコロナ時代の人間関係 (12/9講座)	人と人の関係 ～人が人に向けた情報発信～
3月1日(火)	めだかの学校(12/6講座)	過去から未来へ繋ぐピアノの音色

※今後もコロナの影響で日程が変更となる場合があります。